



**JR東労組** (東日本旅客鉄道労働組合)  
 東京都渋谷区代々木2丁目2番6号  
 JR新宿ビル13F 〒151-8512  
 電話 03-3375-5740(代)  
 発行人 佐藤英樹 編集人 湯ノ目亜矢子  
 月1回発行/一部20円  
 (組合員の購読料は、組合費に含む)

2020年9月20日  
 第714号



JR東労組ホームページは  
 ←こちらからアクセス  
<http://www.jreu.or.jp/>

JR東労組は9月9日に「雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言」を发出了。新型コロナウイルス感染症の収束は未だに見えず、JR東日本を取り巻く状況は厳しいものになっていきます。新型コロナウイルス感染症の影響による解雇者数は8月末に推計5万人を超え、5月以降、月1万人前後のペースで増え

ていると言われています。そのような情勢で、大手企業の多くがテレワークを推進し、通勤手当の廃止、通勤定期ではなく実費精算へと切り替える企業も増えています。私たちが取り巻く厳しい状況を的確に認識することが必要です。その上で、私たちの雇用と職場を守るために、どのようにして赤字を乗り越えて企業を存続させていくか、

私たちにできることはないのかを仲間と議論していくときではないでしょうか。職場からの議論を元に、黒字経営に向けた提言を練り上げ、11月16日に開催される「政策フォーラム」で大いに議論していきましょう。そして、その提言を実現するために、組織強化・拡大をつくり出していきましょう！

# 雇用と職場を守るために仲間と議論を深め JR東労組への再結集を呼びかけよう！

## 雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言

～赤字とコロナ禍を乗り越え、雇用と職場を守り抜こう～

### ■私たちを取り巻く状況を認識しよう！

JR東日本の2021年3月期第1四半期決算が7月30日に発表され、JR発足以来初めて、営業損失・経常損失・四半期純損失を計上しました。この赤字は新型コロナウイルスによる影響です。新型コロナウイルスの感染者数が少なくなった2020年6月でさえ、鉄道営業収入の対前年比は53.3%となっています。

2020年7月7日、深澤社長が会見を行い、新型コロナウイルスの影響による利用者の減少や生活様式の変化を踏まえ「コロナ以前には戻らない。」と語りました。会社は、コロナ禍の対策として人件費や広告宣伝料、設備投資から約1000億円を削減すると発表していますが、赤字経営の解消のために、あらゆる事態が想定されます。

また、ジェイアールバス東北、ジェイアールバス関東においても赤字となり、両社とも組合と協定を締結した上で、雇用調整助成金を申請する事態となっています。他のグループ会社も同様の事態です。

JR東労組中央本部は、この状況は職場の存続や雇用に関わる問題であると、強い危機感を抱いています。

### ■雇用と職場を守るために、全組合員が実践しよう！

私たちは、組合員の雇用と職場を守るために、赤字とコロナ禍を乗り越え、全組合員と共に黒字経営をつくり出していきます。

まずは、全組合員で危機感を共有することからスタートとし、鉄道・バス・医療の安全を守ることを最大の価値軸に据え、健全な経営基盤の構築を目指そうとする諸施策に対し向き合い、理解する努力を私たちは惜しみません。しかし、「安全・健康・ゆとり」が損なわれる事象に対しては労使議論を通じて解決していきます。

また、直接的な赤字の原因に対する対策を講じ、職場からの議論を通じ全組合員の英知を集め、建設的な提起を会社に行い、雇用の危機に直面した今だからこそ、組合未加入者やグループ会社で働く全ての仲間へJR東労組への再結集を呼びかけていきます。

以上、述べてきた通り、雇用と職場を守るため、以下の提言を全組合員に提起します。

#### 緊急提言

1. 全組合員で置かれている現状を認識し、危機感を持とう！
2. 鉄道・バス・医療の安全を守ることを最大の価値軸に据え、健全な経営基盤の構築を目指す諸施策に対し向き合おう！
3. 「安全・健康・ゆとり」が損なわれる事象は、労使議論を通じて解決していこう！
4. この間、新型コロナウイルスに「感染しない・させない」と私たちが実践してきたことを前提に、職場からの議論を通じ、あらゆる感染防止対策を行い、鉄道・バスの安全性を訴えよう！
5. 1項～4項を職場で実践し、黒字経営に向けた提言を職場で議論し、政策フォーラム(2020年11月16日)で組織の意志へ高めよう！
6. 雇用の危機に直面した今だからこそ、JR東労組への再結集を呼びかけよう！

2020年9月9日  
 東日本旅客鉄道労働組合



小さい子どもと一緒に外出をするというスリリングな経験も多いが、見ず知らずの方に助けていただいて窮地を脱するという経験も多くある▼私には、ペイフォワードという「誰かから受け取った恩を新しい誰かに渡して循環させる」という考え方が好きだ。助けられた方の多くも、知らない誰かに助けられた経験があり、それを循環させてくれているのではと感じている▼総合共済にも通じるころがあると思う。保険とは違って、共済が営利目的ではなく、皆で掛金を出し合い、自前で運営して

いるからだ。困っている組合員を他の組合員が助けるという相互扶助の精神で成り立っている▼今年は脱退による申請が多く、現在までの個人口座への給付は250件を上回る。「共済の掛金を納入してきたから給付を受ける権利がある」という主張は正しいのかもしれないが、それでいいのだろうか▼私自身、共済の給付に助けられてきた。一緒に働く仲間が忘れずに申請してくれたということが何よりも嬉しかった▼子育て中のご恩も、共済の給付金も、誰かからの恩送りのバトンなのかもしれないと思っ

(U・O)

### 2020年度執行体制 (敬称略)

執行委員長	柳 明則 (上野車掌区)
執行副委員長	塩入 孝義 (東京総合車両センター 田町派出所)
執行副委員長	増子 公一 (有楽町駅)
執行副委員長	岡部 広幸 (東京電車線技術センター 品川メンテナンスセンター)
執行副委員長	柳澤 嘉也 (田町運転区)
書記長	黒田 弘樹 (御茶ノ水駅)
組織部長	山下 信二 (田町運転区)
組織担当部長	三宿 孝之 (御茶ノ水駅)
組織担当部長	田谷 雅敏 (東京支社)
情宣部長	塚崎 将幸 (綾瀬運輸区)
業務部長	対馬 史幸 (東京電車区)
業務担当部長	中原 隆治 (新宿駅)
総務・財政部長	谷口 寛人 (東京新幹線車両センター)
総務・共済部長	荒井 正司 (東京車掌区)
会計監査員	小林 透 (JETS田町事業所)
会計監査員	阿部 勇氣 (新宿駅)



8月22日、東京地本は第37回再建大会を開催しました。2月10日以降、東京地本再建に向けて厳しい道のりを切り拓いてきました。再建大会には多くの機関から激励やメッセージが寄せられました。再建大会は、コロナ禍を踏まえ感染防止対策を行いながら短時間で開催となりましたが、50名を超える組合員が結集し、活発な発言によ

って大いに盛り上がりました。そして、全ての議案を満場一致で確認し、新体制を確立しました。東京地本再建の第一歩を、さらに大きく力強い歩みにしていくために、「新生JR東労組運動宣言」のもと、組合員と共に団結を強化し、組織強化・拡大をつくり出していきましょう！



東京地本・柳執行委員長と佐藤中央執行委員長にインタビューをしました。5面、6面をぜひご覧ください。

**組織混乱を乗り越え、再生の第二歩を力強く踏み出す！**

**JR東労組東京地本第37回再建大会 開催！**